

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 芸術

工芸 I

教科：芸術

科目：工芸 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1・2組：加納）（3・4組：加納）（5・6組：加納）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（『工芸 I』日本文教出版）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】工芸の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、工芸のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むと共に豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 工芸 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数			
		身	社									
1 学 期	・オリエンテーション カッターで木を削る	●オリエンテーション 工芸の始まりと定義 ●カッターで木を削る方法 (割りばし・鉛筆)			○					○	2	
	「木工芸 木のスプーン」 【知識及び技能】 木の特性と加工方法を理解し、意図に応じて安全・適切に制作できる 【思考力、判断力、表現力等】 機能性と装飾性二つの視点を持って発想、構想できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に制作に取り組み、技術やデザイン力を高めることができる	●スプーンの形と用途 ●木の特性について ●電鋸・のこぎり・やすりの使い方について				○					○	18
2 学 期	「籐工芸 コースター・籠づくり」 【知識及び技能】 籐の特性と加工方法を理解し、意図に応じて安全・適切に制作できる 【思考力、判断力、表現力等】 機能性と装飾性二つの視点を持って発想、構想できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に制作に取り組み、技術やデザイン力を高めることができる	●用具・材料について ●籐工芸について ●コースター、籠について				○					○	24
	「ガラス工芸 (サンドブラスト) グラス」 【知識及び技能】 ガラスの特性と加工方法を理解し、意図に応じて安全・適切に制作できる 【思考力、判断力、表現力等】 使用するシーン、使う人の立場に立ってデザインの発想、構想できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に制作に取り組み、技術やデザイン力を高めることができる	●用具・材料について ●ガラス工芸について ●サンドブラストについて				○					○	8
3 学 期	「陶芸 お皿づくり」 【知識及び技能】 粘土の特性と加工方法を理解し、意図に応じて安全・適切に制作できる 【思考力、判断力、表現力等】 使用するシーン、使う人の立場に立ってデザインの発想、構想できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に制作に取り組み、技術やデザイン力を高めることができる	●用具・材料について ●粘土について ●彫塑について									○	18
									合計		70	